

主な低侵襲治療方法

治療法	方法	特徴
内視鏡手術	腹腔鏡・胸腔鏡を使用	小さな切開で手術、高解像度カメラを使用、回復が早い、痛みが少ない
ロボット支援手術	遠隔操作のロボットアームを使用	精密な動きが可能、3D高解像度視野を活用、繊細で複雑な手術が可能
カテーテル治療	血管内に細い管を挿入	身体的負担が少ない、高齢者にも適用可能、冠動脈形成術や脳動脈瘤治療に使用